

事例：Aさん

・読み書きの様子

読み書き評価課題（URAWSS）を実施すると、書き速度は、小学1年生程度の書き速度、読み速度は、小学1年生以下の読み速度であった。

※URAWSS（Understanding Reading and Writing Skills of Schoolchildren）：ココロリソース出版社／河野 俊寛・平林 ルミ・中邑 賢龍

・学習方法

パソコンの読み上げ機能を利用し、音声で印刷物の内容を把握することで学習している。また、以下の事項が、学校から許可されている。

- ・パソコン（Windows）の教室への持ちこみと、授業中での使用許可
- ・AccessReading が提供する教科書の電子データ（Word 形式）の利用許可（全教科）
- ・試験における、パソコンの読み上げ機能（アドインソフト「和太鼓」）の利用と、キーボード入力による解答の許可
- ・授業で使用するプリント、試験問題・解答用紙等の電子データの提供（USB でデータをもらい、パソコンで利用）
- ・電子データのない印刷物（学校の配布物等）の教師や支援員等による代読
- ・パソコンを用いた試験の実施を別室受験で行うこと

・使用している機器の名称と特徴

- ・アドインソフト「和太鼓」

Microsoft Word のアドインソフトである。読み上げた部分をハイライトさせた上で、音声を読み上げる。ルビをつけた場合、ルビを優先して、音声で読み上げてくれる。

（URL： <http://www.geocities.jp/jalpsjp/wordaico/wordaico.html> ）

- ・AccessReading

AccessReading は、読みに困難がある児童生徒へ、教科書の電子データを配信・提供しているオンライン図書館である。配信・提供している教科書の電子データのファイル形式は、Microsoft Word 形式と、iPad などの電子書籍閲覧アプリ「iBoods」等で利用できる EPUB 形式の 2 種類がある。

（URL： <http://accessreading.org/> ）

教科書の電子データを利用した感想

- ・勉強するとき常に人についてもらうことは難しいので、教科書の電子データがないと、自分は勉強することをあきらめることになる。
- ・紙の教科書では、見間違いがあったものが、読み上げを利用することで、確信がもてる。

- ・表なども全てテキスト化されているので、読めないという箇所がないことが嬉しい。
- ・全教科の電子データがあり、主要五教科と同じように他の教科も読めて便利である。例えば、保健体育などの教科が、授業中に利用することが多い。今まで、なんて読むのだろうと思っていたことが、他の教科と同じように読み上げさせて内容を理解することができるので、勉強に制限がなくなった。
- ・テキストデータは必須だが、それに加えて教科書の電子データに挿絵のイラストが入っているので、とても便利に使用できている。自分は、文字だけのパソコンのデータを見て、読みたい箇所を探すことに時間がかかっていた。しかし、イラストがつくことで、大体の場所の検討がつくので便利である。

【写真】 DOCX ファイルを Microsoft Word で開き、和太鼓で読み上げている様子

